

世界最高性能を誇った無線電信機

登録番号	第 00228 号		
登録年月日	平成29年9月12日	登録区分	第二種

名称 (型式等)	三六式無線電信機
所 在 地	神奈川県横須賀市
	公益財団法人三笠保存会
所 有 者 (管理者)	公益財団法人三笠保存会
製作者(社)	山田 寿二
製 作 年	1959～1960年頃（複製年）
初 出 年	1903年（制式採用）
選定理由	世界最高性能を誇った無線電信機の複製品である。三六式無線電信機は、火花放電によって生成した電波をアンテナを介して送受し、ガラス管に金属粉を封入したコヒーラ検波器で検出、印字する仕組みで、海軍技師・木村駿吉らによって、先行するマルコーニ社の技術に頼らず開発された。日露戦争で活躍し、日本を勝利に導いた要因の一つとなった。完全な複製ではないものの、木村の海軍工廠時の部下であった山田寿二が再製作したもので、欧州に先んじて無線電信の高性能化を実現した証として重要である。
登録基準	一一ロ（国際的に見て日本の科学技術発展の独自性を示すもの）

公開・非公開	公開
写 真	
その他参考となるべき事項	